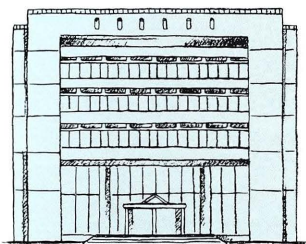


西南学院大学

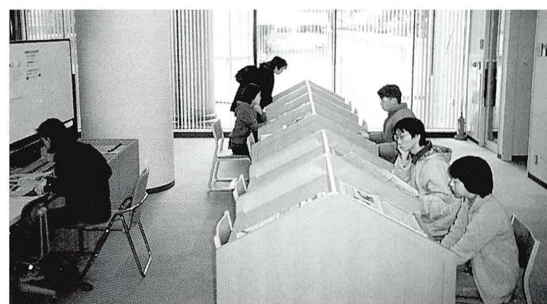


図書館報

No.

146

1999.5



目次

新入生へのメッセージ.....	図書館長 岩間 徹	2
図書館利用の達人になる.....	商学部教授 佐々木 武夫	3
大学生活と図書館利用.....	文学部国際文化学科 2年 岸川 英理子	3
特集 ユーロ (EURO) ってなんだろう!		4 ~ 5
Thank you library.....	マンチェスター大学(英国) ライ イー ティン 交換留学生 LAI, Yee Ting C.	6
巴金氏の署名入り図書を展示、「指定図書コーナー」紹介.....		6
新着図書・視聴覚資料紹介・お知らせ.....		7 ~ 8



新入生へのメッセージ

図書館長 岩間 徹

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

もうそろそろ大学生活に慣れてきた頃だと思えます。ところで、皆さんは、大学で何を学ぶつもりですか。また、将来どのような職業を選択するつもりですか。大学生活のできるだけ早い時期に、このことを真剣に考え、自分の基本的なスタンスを決めておくことは、とても重要なことです。それ如何により、4年後の自分の人生が決定されるといっても過言ではありません。

関係する先生方や先輩、友人らと語らい、情報を得、書物を読むことをとおして、何らかのヒントをつかむよう努力してください。

皆さんは、学ぶために大学に入学してきました。それぞれの学部・学科で専門の学術を受けるために入学してきました。皆さんは、そのような学術を身につけ、4年後、有為な人材として社会に巣立っていくのです。

さて、大学の図書館は、皆さんの主体的な学習を側面から支援するために存在しています。大いに図書館を利用してください。

以下では、そのような図書館との付き合いかたについて、皆さんにいくつかアドバイスをしてみたいと思います。

◆快適な勉強部屋◆

図書館は冷暖房のきいた快適な空間であります。朝から夜までここで勉強しようと思えば、できるのです。授業の予習や復習をし、研究するのに、もってこいの場所です。そこは、まるで皆さんの勉強部屋なのです。

◆知の散策◆

図書館には、図書、雑誌、新聞、ビデオテープ、マイクロフィルム、CD-ROMなどが備わっています。また、3階のSAINSルームではイン

ターネットにアクセスすることができます。自由時間を利用し、図書館内を散策し、知の世界に飛び込んでみてください。そこは、限りなくおもしろい世界であることに気づくはずです。

◆知識と情報の宝庫◆

本学の図書館には、合計約67万冊の図書（和書約41万冊、洋書約26万冊）、約6,200種類の雑誌（和雑誌約4,200種類、洋雑誌約2,000種類）、約13,000点の視聴覚資料がそろっています。また、最近の傾向ですが、CD-ROMが増えています。SAINSルームには80台のコンピュータが備え付けられており、インターネットなどをとおして世界中から必要な情報を入手することができます。

本学の図書館には九州の他大学には見られない特徴があります。それは、国際機関（国連、EU、OECD）の資料室および国際協力プラザコーナーが設置されていることです。国際協力プラザコーナーは外務省の外郭団体である財団法人国際協力推進協会の協力を得て、つい最近オープンしたばかりです。そこには日本のODAをはじめとする国際協力に関する資料がそろっています。この4機関の入った部屋は外部の利用者にも開放されており、関係者からは高く評価されています。

授業の関係でレポートや論文を作成する際、図書館を大いに利用してください。館員はいつでもご相談に応じます。

◆サイバーカフェ◆

3階のSAINSルームでは、インターネットなどによる情報収集ばかりでなく、メールによる先生やゼミの仲間との連絡や意見交換、さらには先生へのレポート提出もできます。

一日も早く図書館との付き合いをはじめてみてください。皆さんの来館を待っています。



図書館利用の達人になる

商 学 部 教 授 佐々木 武 夫

新入生の皆さん、入学おめでとう。長い受験勉強お疲れさまです。が、受験は終わっても、勉強は終わりません。それどころか4月からは授業が待っています。この授業は学生の皆さんのいわば職業ですから、好き嫌いなく「こなさなくて」はなりません。勉強を「こなす」だけでなく、勉強を「楽しむ」生活をおくるためには、早く「図書館利用の達人」になる必要があるのです。

大学の勉強に取り組み、知識を蓄積していくためには、その手段としての「情報収集能力」が必要です。文系・社会科学系の大学では、その中心は依然として「いい本」を選択するカンを養い、「読み応えのある本」を読破する言語能力にあると言えます。そのためには難解な本に取り組み、知的なしかけに挑戦しうだけの基礎能力を大学1年生から養っていく必要があります。

ところで大学の良し悪しは、あの大学にはこれこれの専門領域で優れた先生がいるということだけではなく、あの大学には「いい図書館といい本がある」ことにあるのではないかと、私は思うのです。経営学的な言い方で恐縮ではありますが、私見によれば「大学の品質」はその大学の「図書館の品質」に相関します。大学における図書館の品質の良し悪しは、現在その大学に良い専門家の先生がいることのみでなく、過去に

もこれだけ大勢の良い先生がいたこと、しかもその遺産をきちんと整理し維持するスタッフがいたことを雄弁に語っているからです。

図書館の品質ということでは、西南学院大学の図書館は「無印良品」の部類に属すると思います。何故、西南の図書館が「良品」であるかということ、まず近年の専門書についてはよくそろっていることが挙げられます。また、開架の書籍は、学部別にフロアーが区分されていて利用しやすいこと、ベストセラーのコーナーもあり、ちょっと寄ってみると流行の本も探せます。つぎに、建物のセンスがいい点です。西南学院大学の中では、めずらしくデザインがいい建物なのです。入学式後は、ぜひ図書館の前で記念写真を撮ってください。学生証をもらったらすぐ図書館の中に入ってみて、本を借り出してみて下さい。

ところで、なにゆえ「無印」かということ、私見ですが、全体として地味な点、検索システムのソフトがいまひとつである点、学生の希望図書の整理に時間がかかる点です。これらの点は工夫次第ではかなり改善されます。図書館の有効利用こそ、学生生活を楽しくするキーポイントであると思います。そのためには一刻も早く、多くの皆さんが各自の工夫により、「図書館の利用の達人」になってほしいものです。



大学生活と図書館利用

文学部国際文化学科 2年 岸 川 英理子

新1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。長くて、つらい受験勉強を乗り越えて今は新しい大学生活への期待でいっぱいなのではないでしょうか。大学という所は学問を学ぶ場であると同時に、数多くの友人、先輩、先生方との出会いの場です。私たちが4年間にどのような人と交流を持っていくのかということは、自己形成に直接つながってきます。そして同じことは、本との出会いにおいても言うことができると思います。良書との出会いはどんな時でも私達に新鮮な感動を与えてくれます。本を読むことによって様々な考え方を知ることができます。様々な考え方があることを知っていると全てのことにおいて柔軟な考えが持て、生き方さえも変わってくるように感じます。大学生活の4年間というのは人生において、自分の自由な時間が持て、やりたいことができ、自分の生き方を模索することができる時だと思っています。だからこそ、今、良書と出逢っていくことは人格を形成していく上でとても大切なのではないかと考えます。そして、そのためには規模の面でも設置の面でも充実した内容を持つ大学の図書館をぜひ利用していただきたいと思いま

す。私が大学に入学して1年が過ぎましたが、図書館は、日々の学生生活において欠かすことができない場所です。授業の中で先生が紹介された本などは、図書館に行けばほとんどの場合見つけることができるため、レポートを書く際には非常に助かります。テスト前には、席を取るのが難しいほど多くの人が図書館を利用しています。多くの資料があり、コピー機もすぐ近くにあり、友達と一緒に勉強もできるという点で図書館は、テストの時もみなさんの強い見方になってくれます。また、広くて美しい館内はいつ訪れても心が落ちつきます。授業のあい間などで、少し時間がある時などは、一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。新聞や雑誌に目を通したり、興味のある本を探したりすることは、きっといい気分転換になるはずです。夜も比較的遅くまで開けていただいているので、忙がしい人でも利用しやすいのではないかと思います。できるだけ多くの新1年生のみなさんが、できるだけ多く図書館を訪れて、多くの本と出逢い、一度しかない大学生活を有意義なものにしていだけたらと心から願っています。

特集



ユーロ(EURO)ってなんだろう！



昨年末あたりからニュース、新聞等でよく出てくることばです。みなさんは“ユーロ”についてどのようなことを知っていますか？一言でいうと「EU 域内で使用される欧州単一通貨」です。

その使用されるまでのスケジュールは次のようになっています。

- | | |
|-----------|---|
| 1999年1月1日 | EU 11ヶ国で導入（国債、社債がユーロ建てになる） |
| 2002年1月 | ユーロ紙幣の流通 |
| 2002年6月 | 市場から各国通貨が回収され、ユーロのみとなる（ユーロが導入国の正式通貨となる） |

皆さんがヨーロッパ旅行をするとき、ユーロ導入国間での通貨の換金が不要ということになります。

今回はこの“ユーロ”について図書館でどのように調べ、情報収集できるか簡単に案内しましょう。

★まずは新聞から

まず最近の動向を知る一番早い方法はテレビのニュースでしょう。テレビは自宅で見てもらうことにして、図書館には「新聞」があります。導入を開始したのが1999年1月ですので、その経過や導入の際の様子は1月前後の新聞に書かれています。

ここで参考になる情報を一つ
情報の新鮮さ（早さ）は

新聞 → 雑誌 → 図書（本）

の順で発表されます。ですからユーロのように新しい出来事について知りたい場合はまず新聞から見ていくのがよいでしょう。

★雑誌からも情報を集めてみよう

さて新聞の次には「雑誌」を調べましょう。雑誌は新聞と違って特集を組んだり、一定期間の情報がまとめであります。1階には“Newsweek（日本語版）”“AERA”“世界週報”、2階には“Newsweek（英語版）”“TIME”“金融ジャーナル”“世界経済評論”のような経済誌などがあり“ユーロ”に関する記事が掲載されています。

★図書で理解を深めよう

雑誌の次に「図書」です。「ユーロ」関係は最近よく刊行されています。「ユーロ」はカテゴリーでいうと国際経済、金融・国際金融に該当しますので図書館3階の333番や338番のラベルがついている書架のところにあります。

記事を調べる方法は少しはわかりましたか？

では少し詳しくこれまでのユーロ導入までの道のりについて調べてみましょう。

★EU 資料センターに行ってみよう

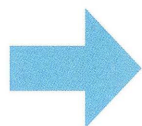
先ほども書きましたが、新聞、雑誌、図書にももちろん掲載されていますが、ここでは EU が発行している資料で情報を収集してみましょう。これらの資料は図書館2階の「国際機関資料室」内の「EU 資料センター」にあります。利用するには1階カウンターで簡単な手続きをすれば利用できます。

EU 資料センターでは EU の活動報告や政策基本方針をはじめ、ユーロ導入までの政策、欧州委員会による規則、指令、条約（マーストリヒト条約）についての情報があります。また駐日欧州委員会より発行されている各種無料パンフレット（自由にお持ち帰り下さい）もあり、初歩的なことから専門的なことまで調べることができます。ただし、資料のほとんどは英語です。（日本語の資料も参考用のため若干あります。）

★インターネットで世界中の情報を集めよう

最後にインターネットの紹介をします。主となるものは EU と駐日欧州委員会のホームページです。この他にも各種サイトがあります。以前は期間限定で大手都銀がユーロに関する情報（今は提供が終了しました）を提供していました。企業や研究者が独自に開設しているホームページもありますので、このようなホームページはサーチエンジンを利用して自分で新たなホームページを発見してみてもいいかもしれません。

これらのホームページは次のようにアクセスしてみましょう。



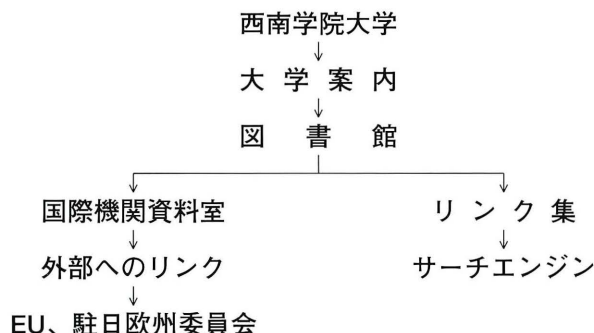
EU のホームページ：

<http://europa.eu.int>



駐日欧州委員会のホームページ：

<http://jpn.cec.eu.int>





Thank you library

マンチェスター大学(英国)
交換留学生

ライ イー ティン

LAI, Yee Ting C.

First of all, I would like to thank the library, its managers, its staff and everyone who helped with organizing the library for our use. Without you, I would not be able to do my research.

As an exchange student from Manchester, apart from learning the Japanese culture and its language, I am required to do a dissertation that must be based on a civil engineering topic. As we know, Seinan is a non-engineering base university and therefore it would not have engineering related books. The next library available is the city's public library, but one different from Britain's city library is that it does not hold many foreign specialized books.

After spending the first couple of months going through everything available from the Internet, the public library, and Seinan's library, I came to a point where I would have to go to one of the universities in Fukuoka city that has an engineering department.

This is where I received my big favour from the library and its staff. They did everything possible to give me access to any books that I required. First of all, one of the staff members taught me the WEBCAT network needed to search for books and their locations. By using this I could easily locate the articles which I found on the Internet. Secondly, they patiently explained what methods were available to obtain my necessary materials. On top of that, they took their time to order the books for me through inter-library loan. Last but not least, a letter was written to other universities' libraries in order to ask permission for me to use their materials.

Now that I have access to other universities' libraries, gathering articles and books is no longer a problem. Without their patience and kindness, I would not have been able to proceed with my research. Therefore, I would like to show my appreciation for their kindness and helpfulness to me.

Thank you,



巴金氏の署名入り図書を展示



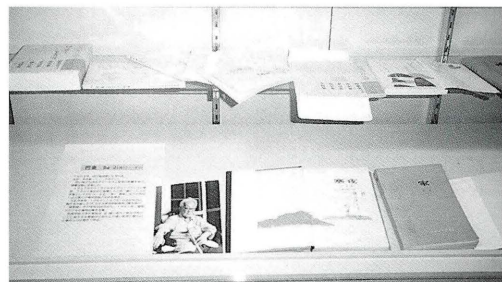
巴金氏の署名入り図書を昨年11月から2階閲覧室に展示しています。

巴金 (Ba Jin パー・チン) 氏は、1904年、四川省西都生まれ。本名李堯棠 (リー・ヤオタン)。若い頃から西洋アナーキズム思想の影響を受け、啓蒙活動に従事。1927年から1928年にかけてフランスに留学し、フランス滞在中に執筆した小説「滅亡」により作家としてデビュー。代表作である3部作(「家」「春」「秋」)や「寒夜」などの作品により多くの青年読者の支持を得ました。

文化大革命期(1966~1976)のときには粛清をうけて処罰され、肉体労働を強制させられました。その間創作を中断したが、文化大革命終結後、再び筆を執り、自らの経験を語った随筆集「随想録」その他を完成させました。1990年には福岡アジア文化賞特別賞を受賞。

本学名誉教授の(故)樋口進氏と親交があり、今回展示している図書は、巴金氏より樋口教授に贈られた署名入りの著作で、これらは遺族から本学図書館に寄贈されたものです。

(参考: 展示説明文)



「指定図書コーナー」紹介

本学図書館の指定図書制度は、講義担当の先生方にその講義を受講する学生が必ず参考にしなければならない図書を指定していただき、2階閲覧室の「指定図書コーナー」に備えて、学生の図書利用の円滑化を図ろうとするものです。指定図書は講義に関連した図書ですから、受講生は大いに活用してください。

なお、このコーナーの図書は館内閲覧のみで、貸し出しはできませんが、通常の書架に複本(同一図書)がある場合には、それは借り出すことができます。受講生用に「指定図書一覧」の冊子も準備しています。

また、4階閲覧室の参考図書横には英米文学関係の「英米文学選定図書コーナー」を設けており、原書(英語)と日本語訳両方の図書を置いています。

新着図書・視聴覚資料紹介

図 書

＜書名／編著者／出版社／請求記号＞
 「情報」の商品化と消費／岩本 純／学文社／
 007.3.129
 日本語練習帳／大野 晋／岩波書店／092.810.12
 英米哲学入門／渡邊二郎／筑摩書房／133.1.6
 イエスとは誰か／高尾利数／日本放送出版協会／
 192.8.36
 僕は考古学に鍛えられた／森 浩一／筑摩書房／
 210.2.176
 日本20世紀館／小林英夫／小学館／210.6.199
 フランス学を学ぶ人のために／人文書院／世界思
 想社／293.5.44
 総合政策科学入門／大谷 實／成文堂／301.0.76
 人権について／J. ロールズ／みすず書房／
 316.1.143
 国際政治の基礎知識／加藤秀治郎／芦書房／
 319.0.235
 わかりやすい法学入門／山田 晟／有信堂高文社
 ／321.Y19.1
 現代中国法入門／木間正道／有斐閣／322.922.17
 法的思考のパラダイム／長谷川貞之／青山社／
 324.0.37
 会社法の経済学／三輪芳朗／東京大学出版会／
 325.2.242
 図説国際法／西井正弘／有斐閣／329.0.151
 演習・経済数学への招待／立石 寛／勁草書房／
 331.19.371-2
 経済数学入門／岡部恒治／新世社／331.19.426
 日本経済と国際経済の考え方／大矢野栄次／中央
 経済社／332.107.244
 アジア経済ハンドブック／宮崎正弘／全日法規／
 332.2.169
 チャイニーズ・スタンダードー世界標準に挑む中国
 ／藤村幸義／勁草書房／332.22.409
 ベイシック経営学 Q&A／ベイシック経営学編集
 委員会／ミネルヴァ書房／335.1.84
 経営分析／高松和男／実教出版／336.83.72
 財務会計・入門／桜井久勝／有斐閣／
 336.9Sa47.4

図解パソコン時代に絶対必要な簿記・会計の基礎
 ／安部玲一／同友館／336.91.100
 繁榮と破綻／小林和子／日本経済評論社／
 338.21.203
 金融ビッグバンと消費者／国民生活センター／
 大蔵省印刷局／338.3.61
 国際金融概論(新版)／原 信／有斐閣／
 339.9.23-2
 新・地方自治の財政学／高寄昇三／勁草書房／
 349.0.61
 ゼミナール日本のマス・メディア／春原昭彦／
 日本評論社／361.45.151
 高齢化社会の政策課題／國武輝久／同文館出版／
 369.26.207
 子どもの教育と宗教／山口和孝／青木書店／
 371.6.69
 子どもが見える、保育が見える／ひらめの会／
 フレーベル館／376.1.499
 大学に「明日」はあるか／毎日新聞社／毎日新聞社
 ／377.21.66
 数学ひとり旅ー数学=不思議発見／石谷 茂／現代
 数学社／410.0.118
 生命倫理学講義／神山有史／日本評論社／
 490.15.139
 日本企業の品質管理ー経営史的研究／法政大学産
 業情報センター／有斐閣／509.66.23
 地球環境論入門／松信八十男／サイエンス社／
 519.0.217
 漁業考現学ー21世紀への発信／地域漁業学会／農林
 統計協会／662.0.2
 マーケティング・ファンダマンタル／E. ヴェル
 ネット／ミネルヴァ書房／675.V62.1
 絵と心／平山郁夫／読売新聞社／721.9.38
 夢二美術館／ー／ほるぷ出版／721.9.39-1~2
 笑いの芸術・狂言／ー／婦人画報社／773.9.5
 スポーツの戦術入門／ヤーン・ケルン／大修館書
 店／780.7.93
 本が死ぬところ暴力が生まれるー電子メディア時代における人間
 性の崩壊／B. サンダース／新曜社／801.03.41
 外国語の効果的な学び方／ジョーン・ルービン／
 大修館書店／807.0.62
 CD ではじめるやさしい中国語会話入門／朝倉摩
 理子／池田書店／827.8.32
 アカデミックライティング入門ー英語論文作成法／
 磯貝友子／慶応義塾大学出版会／836.5.18

老人力のふしぎ／赤瀬川原平／朝日新聞社／

914.6A32.5

石井桃子集 1 ～／石井桃子／岩波書店／

918.6175.1～

イギリス小説のヒロインたち／久守和子／ミネル

ヴァ書房／930.26.30

ドイツを読む愉しみ／高橋英夫／講談社／

940.4.25

ランボー詩集／Rimbaud, Arthur／思潮社／

951.R44.11

ビデオ

戦争の世紀（全26巻）／ポリグラム／C & B W・
各52分／209.VT.SEN／

木の国日本の世界遺産（自然、文化遺産全10巻）
／大蔵省印刷局／C・各45分／709.VT.KIN

（上記は、1999（平成11）年1月～3月新着図書〈和書〉
・視聴覚資料の一部です。）

お知らせ

◎教育実習貸出について

教育実習のために必要な図書を帯出されるとき
はカウンターで申し込みをしてください。

貸出期間 40日（更新不可）

貸出冊数 5冊

◎指定図書について

開架2階に指定図書コーナーを設置しています。
「指定図書」とは講義担当の先生方が科目に関連
のある参考図書を特に指定したものです。詳しく
は「指定図書一覧」をご覧ください。

◎毎月第4木曜日は OPAC が利用できません

毎月第4木曜日はコンピュータの保守点検のため、
終日、端末での図書検索ができません。事前に
検索を済ませておきましょう。

◎図書館の利用案内について

図書館の1F受付では、端末の操作方法や図書・
雑誌等に関するさまざまな質問や問題を解決
するための支援を行っています。

◎「国際協力プラザコーナー」開設について

本年4月、国際関係資料室内に「国際協力プラ
ザコーナー」が、開設されました。

◎図書館のホームページについて

本年4月、図書館のホームページが、開設され
ました。なお、アドレスは、以下のとおりです。
(<http://www.seinan-gu.ac.jp/library/index.html>)

◎本年4月1日から従来の代表電話方式からダイ
アルイン方式に変更になりました。

図書館（整理課）：823-3426

図書館（情報サービス課）：閲覧係 823-3404、

参考資料係 823-3487、国際機関資料室 823-3410

《図書館委員会》

9月21日

報告 ①ROM等の検索パソコン設置について

議題 ①新聞雑誌費の高騰と対策について

②図書費の取り扱いについて

10月21日

報告 ①英米文学選定図書について

懇談 図書費の取り扱い及び新聞雑誌費の高騰対
策について

11月19日

報告 ①1999（平成11）年度学部雑誌の継続購入に
ついて

②1999（平成11）年度個人研究図書費による
雑誌の購入申請について

③図書費の取り扱いについて

議題 ①1999（平成11）年度大学図書館予算申請
（案）について

3月4日

報告 ①国際協力プラザ（外務省所管）の設置について

②新入生図書館利用説明会について

4月13日

報告 ①1999（平成11）年度私大助成の申請、高額
図書の申し込みについて

議題 ①1998（平成10）年度決算について

②1999（平成11）年度補正予算申請について

編集後記

今回は、新入生、在学生向けの内容になっています。
特集として「ユーロ（EURO）」というテーマ
を扱っています。

学生の皆さんが、ますます図書館を利用されるこ
とを願っています。（Y.M）